

重要取組シート

子ども青少年局 子ども青少年育成部
子どもの未来応援室

取組項目	こどもの貧困・貧困の連鎖の解消に向けた取組
現状・課題	【取組状況】 ○令和 3 年 4 月、子ども家庭課子どもの未来応援担当を軸に、関係局が連携してこどもの貧困対策に取り組む「子どもの未来応援チーム」を形成。令和 6 年 4 月、こどもの貧困対策・貧困の連鎖解消の取組をより一層推進するため、子ども青少年育成部に「子どもの未来応援室」を設置。 ○本市のこどもの貧困率は、平成 28 年 15.9% (59.7%)、令和 5 年 13.3% (51.7%) でやや改善しているが、依然としてひとり親家庭は貧困率が高い。 ※堺市子どもの生活実態調査による。() はひとり親家庭。 ○こどもの貧困率が特に高いひとり親家庭の経済的自立と、孤立リスクが高いこどもや若者との繋がり確保の 2 項目を重点テーマとして取組を推進。 【課題】 ○ひとり親の自立支援に関しては、個々の状況に応じてより効果的な支援を実施するため、対象の設定とねらいの明確化、相談から就職・定着までの伴走、収入増に繋がる質の高い求人継続的な確保等が課題。 ○こどもや若者との繋がりに関しては、こども自身や家庭環境が厳しい状況にある場合ほど関係構築が難しい。分かりやすく受け入れやすい情報提供、ひとりで抱え込まず相談できる関係の構築、関係機関と連携した継続的な支援等が課題。
取組の内容	【ひとり親家庭の自立支援】 ○これまで、民間支援団体と連携した各種セミナーや交流会、寄附食品を活用して就労継続や相談支援に繋げる「エスパン」、多忙なひとり親がスキマ時間に相談から就職までの就業支援を利用することができる「ひとり親×仕事サポート LINE」等の取組を推進。 (令和 7 年 2 月末時点 サポート LINE 登録者 10,888 人 就職者 189 人) ○令和 7 年度は、これまでの取組に加えて、自立支援セミナーを一部見直し、支援ターゲットを明確にした「パート・派遣の方」向けのセミナーを実施する。また、セミナーから「サポート LINE」への接続を強化し、意欲喚起、就業相談、職業紹介、定着支援までを一体的で伴走的に支援できるよう検討・実施する。 【こどもや若者との繋がり確保】 ○これまで、市内在住在学の若者を対象とする「さかい学生 & 若者応援 DAY」、児童養護施設退所者を対象とする「エスパン定期便」、生活困窮かつ長期不登校の中学生を対象にした「不登校の子どもの学びとつながりサポート事業（まなサポ）」、母子保健・児童福祉に係る地域資源の把握等の取組を推進。 ○令和 7 年度は、これまでの取組に加えて、「まなサポ」の対象要件の緩和による利用者拡大、地域資源の区単位のネットワーク化に取り組む。また新たに、区役所と連携して、こどもの養育環境に課題を抱える家庭への訪問事業「もぐもぐリーフ便」を実施する。

スケジュール	前期 (～9月)	☐ 「ひとり親×仕事」サポート LINE 事業の実施 (4月～) ☐ 「エспан 2025」10月まで毎月実施 (4月～) ☐ 「まなサポ」実施調整・抽出・案内・面談 (4月～) ☐ 地域資源の情報更新及びネットワーク化の取組 (4月～) ☐ 「もぐもぐリーフ便」の調整・実施 (4月～) ☐ 「子育て生活の悩みおしゃべり会」開催 (5月) ☐ 「エспан定期便」(児童養護施設退所者へのつながり支援) 発送 (5月) ☐ 「ひとり親になって3年以内セミナー」開催 (6月) ☐ 「パート・派遣の方向けセミナー」開催 (6月) ☐ 「不登校のこどもの保護者向け講演会」開催 (6月) ☐ 「学生＆若者応援 DAY」開催 (7月) ☐ 「ひとり親になって3年以内セミナー」開催 (8月) ☐ 「半年をめやすに転職・収入アップセミナー」開催 (8月) ☐ 「まなサポ」訪問開始 (8月～) ☐ 「エспан定期便」発送 (8月) ☐ 「子育て生活の悩みおしゃべり会」開催 (9月)		
	後期 (～3月)	☐ 「ひとり親になって3年以内セミナー」開催 (11月) ☐ 「パート・派遣の方向けセミナー」開催 (11月) ☐ 「エспан定期便」発送 (11月) ☐ 「エспан 2026」対象者抽出・案内 (11月) ☐ 「学生＆若者応援 DAY」開催 (12月) ☐ 「エспан 2026」10月まで毎月実施 (1月～) ☐ 「ひとり親になって3年以内セミナー」開催 (1月) ☐ 「半年をめやすに転職・収入アップセミナー」開催 (1月) ☐ 「子育て生活の悩みおしゃべり会」開催 (2月) ☐ 「エспан定期便」発送 (2月)		
	次年度以降			
	進捗の状況			
進捗の状況	前期 (～9月)			
	後期 (～3月)			
堺市基本計画	該当する施策	3- (5) 厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実		
	寄与する KPI	児童扶養手当受給者に占める全部支給の割合 [現状値: 59.5% (2019年度)、55.4% (2023年度)]		目標値 (2025年度) 全国の割合を下回る
未来都市計画	最も貢献する SDGs のゴール	ゴール番号 1	貧困をなくそう	
	寄与する KPI	児童扶養手当受給者に占める全部支給の割合 [現状値: 59.5% (2019年度)、55.2% (2022年度)]		目標値 (2025年度) 全国の割合を下回る

